じゅ らく 樹 楽

加羅古呂庵 一泉

## 樹楽

木々に感情があるのかわかりませんが、気温や光の変化に応じて季節を楽しんでいるのかもしれません。そんなことを想像して尺八五重奏曲として「髪の気」「春の光」「夏の風」「秋の色」の4つのシーンで構成しました。

冬。木々は葉を落とし、凛とした寒気の中で、屹然と聳えています。

やがて春になると、柔らかな光が降り注ぎ、ぬくもりの中で喜びが広がります。 夏は、緑の葉を茂らせ、梢の間を風が吹きわたっていきます。

秋になると、華やかな紅葉だけでなく、地味な木々もさまざまに葉や実の色合いを増し、やがて訪れる冬の前に時を謳歌しているようにも見えます。

里山の木々は、日々変化を続け、一年がめぐっていきます。



加羅古呂庵ホームページ































